

⑩ 日本国特許庁(JP)

③ 実用新案出願公開

⑨ 公開実用新案公報(U) 平1-65929

⑨ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑨ 公開 平成1年(1989)4月27日

F 16 D 3/41

J-2125-3J

審査請求 未請求 (全4頁)

④ 考案の名称 ユニバーサルジョイントの軸受装置

④ 実 願 昭62-158863

④ 出 願 昭62(1987)10月16日

⑦ 考 案 者 任 勢 景 一 郎 大阪府大阪市南区饒谷西之町2番地 光洋精工株式会社内
 ⑦ 考 案 者 谷 口 利 男 大阪府大阪市南区饒谷西之町2番地 光洋精工株式会社内
 ⑦ 出 願 人 光洋精工株式会社 大阪府大阪市南区饒谷西之町2番地
 ⑦ 代 理 人 弁理士 岡田 和 秀

⑦ 実用新案登録請求の範囲

(1) ユニバーサルジョイントにおける十字軸のトラニオンの軸心回りに複数のころが配された軸受装置であつて、

前記ころに内接する部材の外径をその先端側ほど小さく設定することにより、軸受内部隙間を前記トラニオン先端側ほど大きくしてあることを特徴とするユニバーサルジョイントの軸受装置。

(2) 前記ころに内接する部材が、前記トラニオンそのものであつて、その外径が先端側に向かって段階的に縮径されているものである、実用新案登録請求の範囲第(1)項記載のユニバーサルジョイントの軸受装置。

(3) 前記ころに内接する部材が、複数のアウトレースが軸方向に外嵌されたトラニオンであつて、トラニオン先端側のアウトレースほど外径が小さく設定されているものである、実用新案登録請求の範囲第(1)項記載のユニバーサルジョイントの軸受装置。

図面の簡単な説明

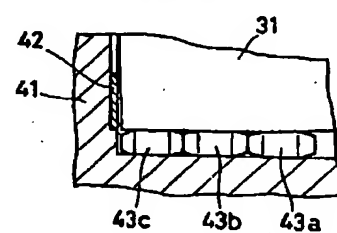
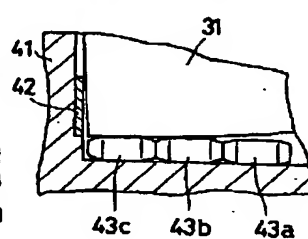
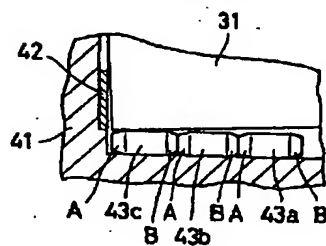
第1図ないし第3図は本考案の第1実施例にかかり、第1図は十字軸に装着した状態の軸受装置の要部を示す縦断側面図、第2図aないしcは動作を説明するための軸受装置の部分断面図、第3図は第2図cの状態における荷重分布を示す説明図である。第4図ないし第8図は本考案の第2ないし第4実施例にかかり、いずれも第1図に対応する図を示している。また、第7図ないし第10図は従来例にかかり、第7図はユニバーサルジョイントを示す分解斜視図、第8図は十字軸および軸受装置を示す要部縦断側面図、第9図aないしcは動作を説明するための軸受装置の部分断面図、第10図は第9図cの状態における荷重分布を示す説明図である。

30……十字軸、31……トラニオン、31a～31c……トラニオンの段部、40……軸受装置、41……軸受ケース、43a～43c……こ

第9図 (a)

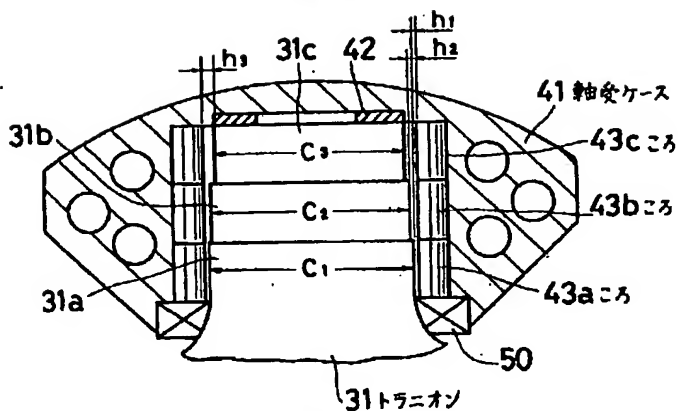
第9図 (b)

第9図 (c)

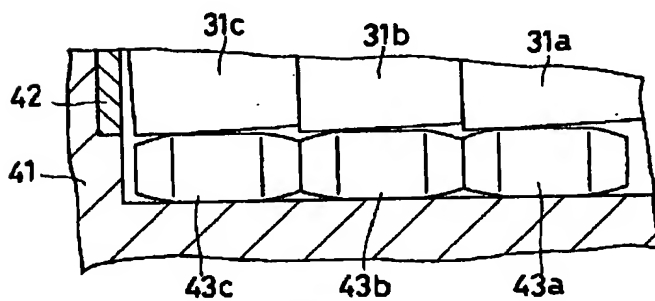


実開 平 1-65929 (2)

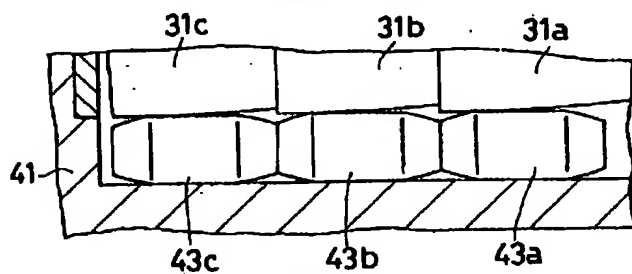
第 1 図



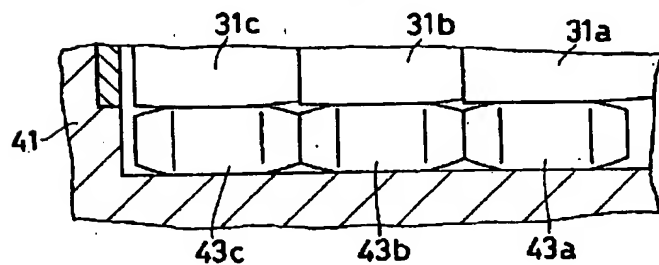
第 2 図 (a)



第 2 図 (b)

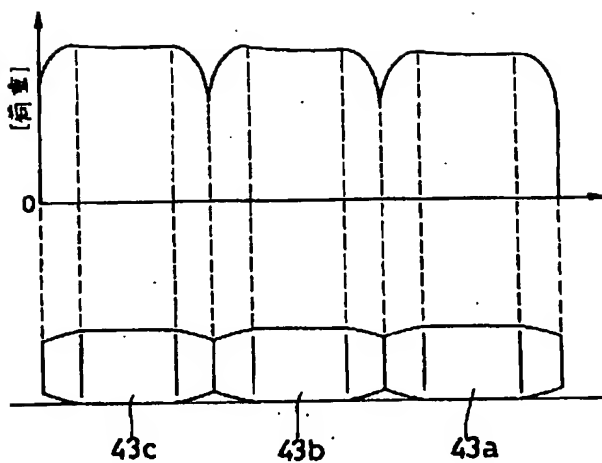


第 2 図 (c)

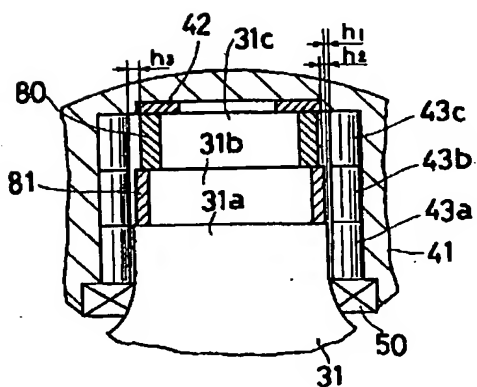


実開 平1-65929(3)

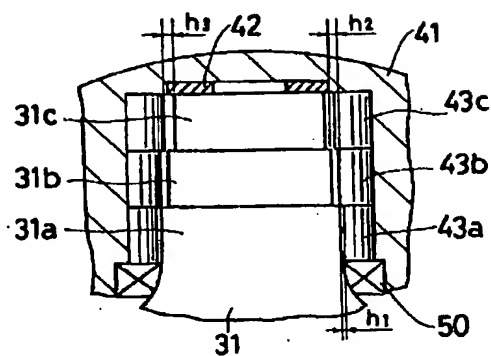
第3図



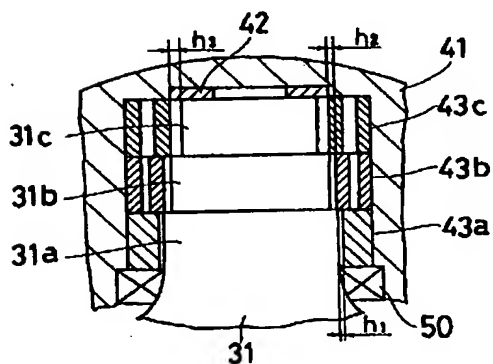
第4図



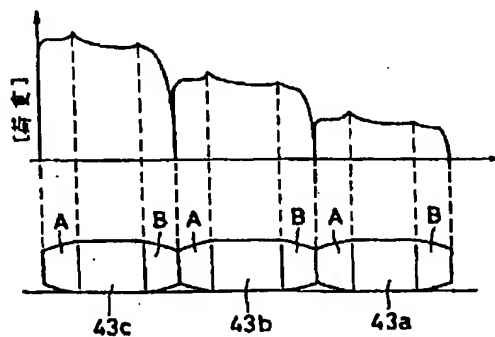
第5図



第6図

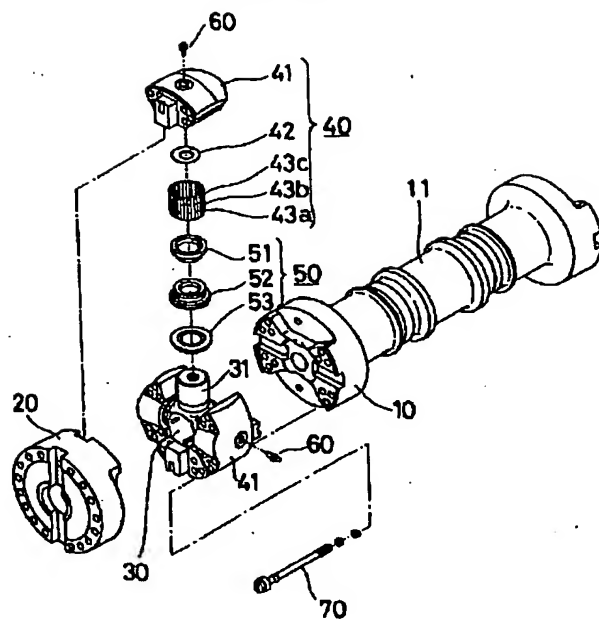


第10図



実開 平1-65929(4)

第7図



第8図

